

第1学年 定期考査2 範囲表

		教科	範囲	学習のポイント	提出物について
10月11日 (火)	1限	英語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p 26～p 55 ("All about me" Poster まで) カラプリ 4 ～ 6 ジョイフルワーク p 32～p 61 復習プリント⑦～⑮ 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のキーセンテンスと本文を理解し、書けるようにしておく。 カラプリやワークの間違えたところを、<u>自学ノートに1回以上解き直し、単語や文を何回も練習して書けるようにする。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ジョイフルワーク 自学ノート (※担当の先生の指示に従うこと) <p>提出日 10月11日(火) ※英語係は出席簿順に並べて、職員室に持ってくること。</p>
	2限	社会	<p><地理的分野> 教科書 P 26～46 資料集 P 26～41 ワーク本誌 P 18～33 ワーク整理ノート P8～13 暗唱カード地理③</p> <p><歴史的分野> 教科書 P 24～57 資料集 P 32～51 ワーク本誌 P 12～31 ワーク整理ノート P5～14 暗唱カード歴史③～⑦</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教科書の太文字、暗唱カードの単語は説明出来るようにしておく！ ワークの問題は2回やって間違えたところだけを3回目解き直そう。 教科書の図やグラフをよく見ておこう。 	<p>テスト当日、全員ロッカーの上に提出 ※係は出席番号順に並べる</p> <p>地理 ワーク本誌 ワーク整理ノート</p> <p>歴史 ワーク本誌 ワーク整理ノート</p> <p>(3・4組のみ) 地理・歴史の授業ノート</p>
	3限	理科	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P 73～116 ワーク P 30～47 54～57 プリント 6～8 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ワーク、プリントを振り返る。 密度、質量パーセント濃度、溶解度に関する計算を繰り返し練習しておく。 ガスバーナーや電子てんびんの使い方や、気体の集め方等の実験操作を説明できるようにする。 	<p>テスト当日、全員ロッカーの上に提出 ※係は出席番号順に並べる</p> <p>ワーク</p>
10月12日 (水)	1限	数学	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.61～100 授業プリント No.34～No.67 システムワーク P.24～P.49 	<ol style="list-style-type: none"> 計算の練習だけでなく、週末課題でやったようなまとめの勉強もしましょう。 ワークの問題はノートに2回やって間違えたところだけを3回目解き直そう。 	なし
	2限	国語	<p>「ちょっと立ち止まって」 「指示する語句と接続する語句」 「大人になれなかった弟たちに…」 「漢字の音訓」 「書写；平仮名のもととなった漢字」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語ワーク p30～36、p51～67、 p76～77 漢字ワーク 17～32 (p20～35)、p42～43 カラープリント 4・8 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きは、自主練習を重ねて、完璧にしよう。 接続する語句の6つの働きを覚えてこよう。 「平仮名のもととなった漢字」は、書写の教科書 p16～17を参考に覚えてこよう。 字数制限に合わせてまとめて書く問題が苦手な人は、国語ワークやカラープリントで復習すると効果が上がるので試そう。 	<p>10月12日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字ワーク (授業中に点検されていないページがある人のみ、テスト終了後に提出。) 自主学習ノート <p>国語ワークやノート、ファイルは、授業中に連絡します。</p>

